

熱田小児科クリニック 掲示板

8月のテーマ 『夏風邪』

(医)熱田小児科クリニック「ひまわり」スタッフ

典型的な症状は…のどの痛み(赤くなる) 発熱 発疹 下痢 腹痛など様々です。

咽頭結膜熱 (プール熱)

特徴は…プールでの感染が多く見られることから、プール熱とも言われていますが、原因であるアデノウイルス自体には季節性がなく、最近では夏季に限らず流行の見られることがあります。

ヘルパンギーナ

特徴は…発熱と喉の痛みが特徴の小児ウイルス性咽頭炎で、夏風邪の代表的疾患です。

手足口病

特徴は…病名の通り、手、足、口に水泡ができる感染症で、大部分のみの軽い症状です。4歳くらいまでの幼児に多い感染症ですが、感染力が強く、学童でも流行することがあります。



☆注意すること☆

- ほとんどは1週間で回復しますが、まれに髄膜炎、脳症などの重い合併症を起こすことがあります。発熱が長引いたり、頭痛や嘔吐などが続く時にはすぐ受診しましょう。
- 髄膜炎とは…風邪のウイルスや細菌が髄膜(脳や脊髄を被っている膜)に感染し、炎症を起こす。高熱や激しい頭痛、けいれんなどの症状が出ると言われている。

看護のポイント

〈発熱しているとき〉

- 寒気があり、手足が冷たい場合は体を暖めます。掛け物など寝具で調節し

ましょう。

- ・寒気がなく、手足が温かい場合は体を拭いたりして、体温降下を。脱水傾向になるので、十分水分をとりましょう。

〈脱水症状に気を付けて〉

- ・水分は、欲しがらなくても少しずつこまめに与えましょう。

〈食欲がないとき〉

- ・口の中が痛いときは、刺激にならないようす味ののどごしが良い物を食べさせましょう。

〈入浴は？〉

- ・熱があっても 38℃以下で元気があれば、シャワー程度か長湯をしなければかまいません。

〈家族も予防を〉

- ・手洗いとうがいをきちんとしましょう。

薬の服用について

Q 症状が軽くなったら薬をやめていい？

A 症状がよくなったと思っても完全に治ったとは限りません。自分勝手な判断をせず、医師の指示通りに服用してください。

Q 同じ症状だったら、前に処方された薬をまた使ってもいい？

A 症状が似ていたとしても同じ病気とは限りません。また、薬の使用期限が切れているかもしれません。その都度、処方された薬を飲ませてください。

Q 上の子のかぜがうつったみたい。上の子の薬を下の子に飲ませてもいい？

A 薬の種類や量は診察したこの状態に合わせて処方しています。体重によって薬の量は異なりますし、兄弟でも体質によって合う薬が異なる場合があります。同じ症状に見えても、薬の使い回しはしないで、医師の診察を受けて、その子に合った薬を処方してもらいましょう。

Q 薬を上手に飲ませるには？

A 飲み物や食べ物に混ぜて飲ませる方法もあります。医師や薬剤師にご相談ください。